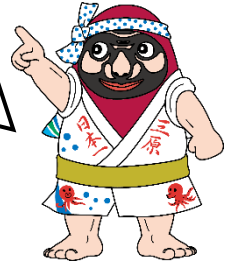


事業名：高齢者健康づくり事業



Q1 この仕事は、誰のために、何をしていますか？

高齢者が心身ともに充実した生活をおくり、健康寿命の延伸を図ることを目的に、老人クラブ連合会に事業委託をし、健康づくり等の講演会や学習活動、健康増進活動の成果発表の場の設定、スポーツ大会や教養講座等の開催を支援します。



Q2 この仕事に、私たちの税金がどのように使われていますか？

高齢者の健康づくり事業として、スポーツ大会や教養講座の開催を行うため、老人クラブ連合会への委託料に税金が使われています。



Q3 この仕事が行われることによるメリットは？

高齢者が生きがいをもって生活することや、健康づくりに取り組むことで、元気な高齢者が増えます。高齢者本人の生活の質が保たれるほか、医療や介護の社会保障費が抑えられ、結果的に保険料などの本人負担も抑えられます。



Q4 この仕事はいつから始まり、また、見直しなどを行いましたか？

老人クラブ連合会への委託は、平成17年の合併以前から行っています。事業のメニューはほぼ変更なく、事業費用については、毎年必要経費を積算しています。



事業シート（概要説明書）

予算事業名		高齢者健康づくり事業			事業開始年度		平成17年度 (合併前については不明)															
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）		単位	R2年度	H31年度	H30年度															
		スポーツ大会参加者（年1回）		人	中止	500	409															
		グラウンドゴルフ大会参加者（年1回）		人	162	250	250															
		芸能大会（年1回）		人	中止	600	550															
		教養講座（通年，延人数）		人	中止	671	873															
		認知症予防研修（通年，延人数）		人	1,277	1,902	1,995															
	単位当たりコスト	総事業費	/	参加延人数	円	635.9	588.3	603.4														
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	大会や行事で成果を披露すること、準備から参加への過程で能動的に活動することは生きがいや心身の健康に繋がると考えることから事業への参加者数を成果指標とする。参加者数の目標値はH28年度の参加者数とする。（過去5年間での最高値） 高齢者が健康を維持している一つの基準として介護認定率21%未満を成果指標とする。																				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】（実績値/目標値）		単位	R2年度	H31年度	H30年度															
		事業参加者数の維持（参加延人数/H28年度参加延人数）		人	1,439/5,523	3,923/5,523	4,077/5,523															
		介護認定率（年度末実績/高齢者福祉計画の目標値）		%	19.3/21.0	19.2/21.0	19.1/21.0															
				/	/	/																
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)		<p>老人クラブという全市的に活動している団体に対し事業を行うことで、効率的に高齢者にアプローチできる。事業を行うことによる効果が不明瞭→各事業評価が必要 老人クラブ数、及び会員数の減少に伴う事業参加者の減少→新規加入者獲得、脱退者の抑制 (考えられる理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動、価値観の多様化 ・就労する高齢者の増加 ・後継者不在等による市老連からのクラブ脱退 ・リーダー、役職等への苦手意識 <p>高齢者の生きがい作りや健康寿命の延伸を図る事業は介護予防、高齢者の社会参画、医療費の抑制などの観点から重要であると考え、具体的な評価指標を定め事業の効果について検討する必要がある。</p>																				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		<table border="0"> <tr> <td>尾道市</td> <td>会員数：4,544人</td> <td>介護予防委託事業：5,450千円（運動等による健康増進）</td> </tr> <tr> <td>東広島市</td> <td>会員数：4,109人</td> <td>介護予防委託事業：なし</td> </tr> <tr> <td>廿日市市</td> <td>会員数：6,277人</td> <td>介護予防委託事業：5,770千円（リーダー研修、健康・教養講座等）</td> </tr> <tr> <td>府中市</td> <td>会員数：3,826人</td> <td>介護予防委託事業：なし</td> </tr> <tr> <td>庄原市</td> <td>会員数：6,120人</td> <td>介護予防委託事業：919千円（地域見守り、声掛け合い、防災研修）</td> </tr> </table>						尾道市	会員数：4,544人	介護予防委託事業：5,450千円（運動等による健康増進）	東広島市	会員数：4,109人	介護予防委託事業：なし	廿日市市	会員数：6,277人	介護予防委託事業：5,770千円（リーダー研修、健康・教養講座等）	府中市	会員数：3,826人	介護予防委託事業：なし	庄原市	会員数：6,120人	介護予防委託事業：919千円（地域見守り、声掛け合い、防災研修）
尾道市	会員数：4,544人	介護予防委託事業：5,450千円（運動等による健康増進）																				
東広島市	会員数：4,109人	介護予防委託事業：なし																				
廿日市市	会員数：6,277人	介護予防委託事業：5,770千円（リーダー研修、健康・教養講座等）																				
府中市	会員数：3,826人	介護予防委託事業：なし																				
庄原市	会員数：6,120人	介護予防委託事業：919千円（地域見守り、声掛け合い、防災研修）																				
特記事項																						

委託・指定管理・補助 対象団体シート (概要説明書)

予算事業名	三原市高齢者健康づくり事業		事業開始年度	H17年度
団体名	三原市老人クラブ連合会			
団体への支出根拠 (選定経過等、支出先の妥当性)	老人福祉法 第十三条 地方公共団体は、老人の心身の健康の保持に資するための教養講座、レクリエーションその他広く老人が自主的かつ積極的に参加することができる事業(以下「老人健康保持事業」という。)を実施するように努めなければならない。 2 地方公共団体は、老人の福祉を増進することを目的とする事業の振興を図るとともに、老人クラブその他当該事業を行う者に対して、適当な援助をするように努めなければならない。 老人クラブの活動に対する事業であるため、他業者では履行できない。			
当該事業の団体における収支状況	収入		支出	
	国からの財政支出金	千円	スポーツ大会	68 千円
	県からの財政支出金	千円	グラウンドゴルフ大会	141 千円
	市町村からの財政支出金	2160 千円	若返り芸能大会	43 千円
	委託料・指定管理料	2160 千円	教養講座の開催	87 千円
	補助金	千円	認知症予防研修会	276 千円
	その他	千円		千円
	その他 ()	千円		千円
総計	2160 千円	総計	615 千円	

※委託料は設計ベースのため、収入と一致しない場合あり。

団体概要	健康・友愛・奉仕を基本に、三原市内の老人クラブの普及・発展をはかるとともに、広く高齢者の福祉の増進に寄与することを目的とする。 1 市内各老人クラブに関する調査研究・育成指導・リーダー養成 2 高齢期を共に生きるための、健康・仲間づくりの推進 3 相互に支えあう友愛活動 4 地域社会に貢献する奉仕・ボランティア活動 5 全ての実践の基礎となる学習活動 6 諸団体との連携及び三原市からの委託事業 7 各部の活動推進 8 その他目的達成に必要な事業									
	資本金	千円	役員	(単位:人)	常勤	うち (出向/OB)	非常勤	うち (出向/OB)	監事	うち (出向/OB)
	市出資金	千円		役員						
	出資比率	%		職員		1				
団体全体の収支状況	収入		支出							
	国からの財政支出金	千円	事業費	3428 千円						
	県からの財政支出金	50 千円	管理費	151 千円						
	市町村からの財政支出金	6447 千円	人件費	681 千円						
	委託料・指定管理料	6447 千円	その他 (負担金, 予備費)	298 千円						
	補助金	千円	総計	4558 千円						
	その他	千円								
	その他 (会費, 雑入, 繰越金)	1347 千円								
総計	7844 千円	収支差	3287 千円							
特記事項	負債総額: 円 資本総額: 円 利益剰余金(もしくは欠損金): 円									
財務諸表URL										

三原市の高齢者の健康づくりに関する事業

※実績は令和2年度分、○は令和3年度予算

知識普及

高齢者向け運動機器の開放

三原・大和・本郷に設置している運動機器を使用した運動166回延2,059人(1,417千円)

介護予防健康体操教室

体操講師による運動各地区5か所187回2,922人(1,755千円)

おうちで健康体操

自宅でできる体操のDVDを作成150枚

運動普及リーダーによる活動

市民全体を対象に、運動普及リーダーがウォーキングやラジオ体操の推進活動を実施(保健福祉課事業)

地域活動支援

介護予防教室

高齢者相談センターが小地域又は地域の団体への出前方式で開催59回延925人(3,233千円)

高齢者食生活改善推進事業

食生活改善推進員が各地域で講習会を開催50回延531回(1,500千円)

介護予防相談事業(出前講座)

保健師・栄養士・歯科衛生士・看護師等を地域の団体に派遣し健康相談を実施33回延665人(456千円)

認知症予防教室
老人クラブ2回、延50人
その他4回、延90人

よく噛んで、楽しい人生を
いきいき百歳体操体験

認知症講演会

認知症の正しい知識の普及啓発の講座を開催
昨年度は中止(185千円)

介護予防研修会

介護予防(運動・栄養等)の講座を開催
5回延74人(308千円)

健康づくり地域活動支援事業

(保健福祉課事業)

講師派遣

地域活動グループ

老人クラブリーダー研修
市職員が講師となり自主運営を支援 昨年度は中止

老人クラブ

スポーツ大会

グラウンドゴルフ大会

芸能大会

認知症予防研修
単位老人クラブでの自主運営又は出前講座による実施

教養講座

市の立ち上げ支援によって運営されているグループ

介護予防自主グループ

現在13か所

いきいき百歳体操

(住民主体グループ)
現在88団体支援延39回

介護予防自主グループ活動支援事業

(1,649千円)

リハビリ専門講師を派遣
12回(147千円)

